

講義名	中国語リスニング【GSP用】		
科目区分	グローバル		
担当教員	関 梅		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
この科目はGSPクラスの中国語A/Bで習い終えた者を対象とする。この科目の狙いは中国語の「読む、書く、聞く、話す」の中の「聞く、話す」に重点を置き、リスニングの力を伸ばしていくことである。 この授業では、中国語の語彙、短文の音読トレーニングをし、ディクテーションのトレーニングも行う。さらにHSK3級レベルのリスニングのトレーニングも行う予定をしている。

到達目標
中国語検定試験3級・HSK3級レベル ①簡単な会話の聞き取りができる。 ②長文のディクテーションの完成ができ、内容を理解する。 ③長文の音声を読み、概要が理解できる ④長文の音読ができる。

提出課題
毎回のリスニングのトレーニングを受けた結果の提出を求める。 また、毎回の授業でHSK試験に必要な単語テストの結果も提出してもらおう。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
前回のリスニングの結果を講評し、できなかった原因を分析する。 また、単語テストの結果から見た弱いところを新たに理解してもらい、再テストをする。

評価の基準
平常点（出席、提出物、小テストなど）30％ 中間テスト 30％ 期末テスト 40％ なお、原則として1/3以上欠席した場合は失格とします。遅刻3回で1回の欠席にカウントします。

履修にあたっての注意・助言他
語学の授業は実践的なものなので活発な取り組みを期待します。授業中の積極的態は大いに評価する。 更に授業外の予習復習は欠かせないため、怠ることなく努力してほしい。

教科書
. プリント教材使用。

プリント資料及び参考文献

授業計画
1. ウォーミングアップ・学力レベルチェック 2. 音読・リスニングⅠ 3. 復習・ディクテーションⅠ 4. 復習・音読・リスニングⅡ 5. 復習・ディクテーションⅡ 6. 復習・音読・リスニングⅢ 7. 復習・音読・リスニングⅣ 8. 復習・ディクテーションⅢ 9. 中間まとめ&テスト 10. HSKリスニングトレーニングⅠ 11. HSKリスニングトレーニングⅡ 12. HSKリスニングトレーニングⅢ 13. HSKリスニングトレーニングⅣ 14. HSKリスニングトレーニングⅤ 15. 模擬テスト&解説

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
○ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
リスニングのレベルアップは授業外での努力は欠かせないため、毎回の授業の後にMoodleにアップした音声ファイルを開くことは宿題となっている。 また、HSK試験に必要な単語及びフレーズの小テストを順次行っていくので、そのための勉強時間も確保しなければならない。 毎日の学習時間は1時間以上が必要。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
本講義では基本的にICT活用をして授業を進めていく。 具体的には、アクティブ教室で講義を行い、音声はiPadとコードレススピーカーを使用する。 リスニングの内容や文法規則については教室にあるプロジェクターを利用する。 宿題としてのリスニングの音声ファイルの配布はMoodleを使用する。

実務経験の有無及び活用
備考
受講者の習得状況に応じて授業の進度を調整する。